

合法性が証明された木材に関する住宅事業者セミナー
～地域材調達における信頼性の向上と合法木材～
実施結果

国際環境 NGO FoE Japan

木材利用ポイントなどの国の事業の実施にともない、地域材調達における産地証明やトレーサビリティの確保等への関心が高まっており、合法性の証明された木材（合法木材）の役割が重要になっている。そこで、民間住宅を供給する住宅メーカー、ビルダー、工務店等を対象に、違法伐採材を排除し合法木材を使用する必要性や、海外における違法伐採問題とその対応、合法性証明の取組の現状を伝え、合法木材の普及と利用の拡大に寄与するべく、2014年2月18日、東京ウィメンズプラザにて「合法性が証明された木材に関する住宅事業者セミナー」を開催した。以下、概要を報告する。

1. セミナー開催概要

- 日時：2014年2月18日（火） 13:00～16:30
- 会場：東京ウィメンズプラザ（渋谷区神宮前）視聴覚室
- 参加者数：34名（住宅メーカーや業界関係者中心）
- プログラム ※講演者敬称略
 - ・来賓挨拶
 - ・発表1 合法性が証明された木材と住宅分野への期待
（一社）全国木材組合連合会 常務理事 藤原敬
 - ・発表2 国際的な違法伐採問題と取組事例の現状
（一財）地球・人間環境フォーラム 企画調査部部長 坂本有希
 - ・発表3 海外における合法木材供給の現状と課題
日本木材輸入協会 専務理事 岡田清隆
 - ・発表4 合法性が証明された木材の供給体制について
全国森林組合連合会 常務理事 岩田茂樹
 - ・パネルディスカッション：住宅建築における合法性が証明された木材の活用
座長：（独）森林総合研究所 国際連携推進拠点・国際研究推進室 室長 藤間剛

2. セミナー報告概要

セミナーの冒頭、主催者として全国木材組合連合会副会長尾藪氏、来賓として林野庁木材利用課総括課長補佐香月氏、国土交通省木造住宅振興室長林田氏よりご挨拶をいただいた後、全国木材組合連合会の藤原氏から「合法性が証明された木材と住宅分野への期待」として、これまでの合法木材の取組み背景、内容、そして成果についての報告があった。

藤原氏によれば、グローバルに考えてみた際、林野庁が発信した文書の中で「合法木材ガイドライン」がもっとも広く普及している、とのこと。また木材利用ポイントにおける対象地域材として、①県産材、②森林認証材、③合法木材が指定されているが、合法木材がもっとも多く使用されており、BtoB または BtoG のみならず、BtoC の分野、つまり住宅業界にも合法木材が少しずつ入ってきているとのこと。報告の最後には、木造住宅は製造過程の二酸化炭素排出量、一棟当たりの炭素固定量、どちらを見ても最高のパフォーマンスが見られるため、最低限として「合法木材」を使ってほしい、とのメッセージがあった。

次に、地球・人間環境フォーラムの坂本氏から「国際的な違法伐採問題と取組事例の現状」として、世界の森林と違法伐採問題、日本の木材輸入の状況とそのつながり、そして海外の違法伐採対策事例として、インドネシアの SVLK 制度や EU、米国、豪州の取組みなどが紹介された。報告の最後に、世界ではもはや CSR のみならず本業において持続可能性を実現していくことが潮流となっているため、合法性の確認は、最初の一步だと考えており、是非、日本においても、合法性のみならず、原材料調達のスustainabilityについて考えてほしい、とのメッセージがあった。

日本木材輸入協会の岡田氏からは「海外における合法木材供給の現状と課題」として、同協会の輸入材取扱における合法性証明に関する取り組み内容が紹介された。また同協会会員の 90%以上が FSC や PEFC のいずれかの CoC 認証を取得しているとのこと。しかしながら、納入先からの要求がないため、合法性証明を出しても無駄、という考え方も根強いことや、書類管理にしても、かなりのコストがかかるといった悩み等もある、とのことだった。

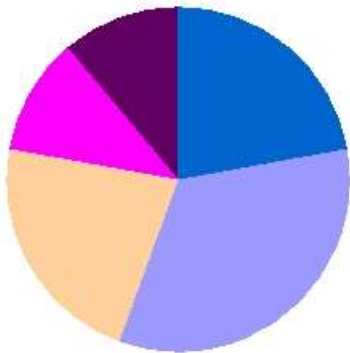
全国森林組合連合会の岩田氏からは、「合法性が証明された木材の供給体制について」として、国産材における合法性証明の取組みの現状が報告された。現場からの声として「合法木材の管理は容易ではなく、そのコストを売価に上乗せし、適性コストにしたい」との課題や、他方、FIT においても分別管理等が要求されており、その重要な伸びも期待できる、といった前向きな見解も紹介された。

その後、森林総合研究所の藤間氏を座長に発表者を交えてパネルディスカッションが実施され、多くの質問が上がり、活発な議論が展開された。

3. アンケート結果

セミナーの内容および合法木材について、参加者へ簡単なアンケートを行い、セミナー終了時に回収した。以下が、集計結果と寄せられたコメントである。

Q1. 期待した情報は得られましたか？

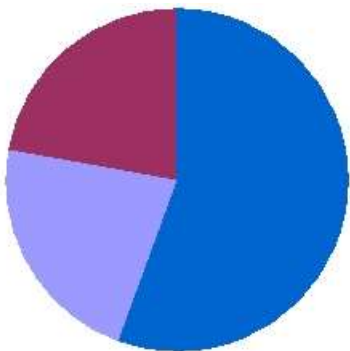


2	十分に得られた
3	やや得られた
2	どちらともいえない
1	やや不足
1	期待外れ
0	無回答

【コメント】

- ・ 弊社では環境理念を立ち上げ、その中で環境負荷を毎年評価しているのですが、その中で納材会社から提出される合法木材の事業者認定についての認識について勉強したくて参加しました。
- ・ 住宅事業者にとっての合法木材の調達・利用のメリットが明確にはお示しいただけなかったことは残念でした。
- ・ NGO と業界の意識の違いを実感した
- ・ 合法性についての全体の姿と現状の違法木材の例が良くわかったと思う。
- ・ 合法木材のメリットの回答があると思ったが、ゼロ解答には正直驚きました。メリットとコストダウンの違いができていない様でした。エンドユーザーが家を建てるに当たっての合法木材のメリットが有れば、コストが高くても喜んでエンドユーザーは使います。
- ・ タイトルから林野庁ガイドラインから一步ふみこんだ証明の話が聞けるのかと期待していた。
- ・ 非常にタイムリーの企画であると考えます。今後も数回計画して欲しい。又、各地域での開催をお願いしたい。

Q2 現在、御社では地域材・合法木材を調達、利用していますか？また、継続的に調達・利用する上での課題があればお書き下さい。

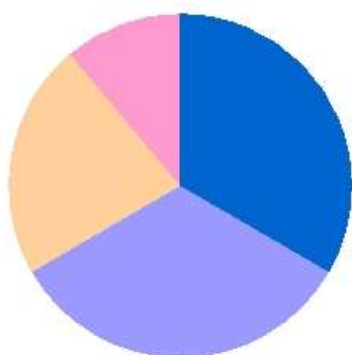


5	以前から利用している
2	少量だが利用
0	使っていない
0	使う予定がない
0	わからない
2	無回答

【コメント】

- ・ 消費者の認知度、消費者へのアピールのアップ→企業の利用が増加する。
- ・ 地域材と合法木材を一緒に考えることができないのでお答えのしようがありませんでした。
- ・ コスト高。調達難
- ・ "国内の地域材・・・安定供給、コスト。MDFの証明がむずかしい"

Q3 本日のセミナーはご満足していただきましたか？ 運営上気になった点はございましたか？



3	大変満足
3	やや満足
2	どちらともいえない
1	やや不満
0	大変不満
0	無回答

【コメント】

- ・ スケジュール管理を徹底願います。15分の予定の発表が30分されては、他の発表スケジュールに影響が大きいと思います。
- ・ テーマと発表内容の不一致があったように思います。(ex. 発表3、発表4)"
- ・ 満足。運営面に特に問題なし。
- ・ スタート時刻は13:00→13:30の方が昼食、移動などしやすかったと思います。

Q.4 今後、このテーマで期待する勉強会、セミナー等がありましたらご意見をお願いいたします。

【コメント】

- ・ 持続可能性の証明は、「関係団体の認定を得て事業者が行う証明方法」では担保されないということを聞いたことがあります。何故、証明できないのか、どうしたら証明できるようになるのかを伺えるセミナーがあれば参加させていただきたいと思います。
- ・ 企業のコンプライアンス、営業担当向け（営業対応）の内容をお願いします。
- ・ 期待することは当面ありません。
- ・ 持続可能性にふみこんだセミナーを聞きたい。
- ・ 経済産業省（日用品等）関係の業界を対象にしたセミナー等を検討していただきたい。